

# 猿投ダンプ事故から50年

昭和41年12月15日、西加茂郡猿投町越戸(現豊田市越戸町)の国道153号で、居眠り運転していたダンプカーが、一時停車していた小型トラックにノーブレーキで追突し、2台とも園児約50人の列に突っ込み、園児10人、保育師1人が死亡、22人が重軽傷を負う交通事故史に残る衝撃的な事故でした。

午前8時50分頃、越戸保育園前(現越戸こども園前)で、園児たちが国道を横断しようとして待っていた。すぐそばに自分の子どもを送ってきて、現場近くでおろし、子どもたちの横断をやり過ごそうと止まっていた小型トラックがあった。

砂利8トン積で、かなりのスピードで走ってきたダンプカーが、その小型トラックに追突し、2台合わせて10トンを超える鉄のかたまりが一団となって急角度に方向をまげて園児の群れに突っ込んだ。車の正面にいた7人は即死し、他の園児たちもはげしくなぎ倒され、道路にたたきつけられた。子どもたちが泣きわめき、血が飛び散り、黄色のランドセル・フツ・帽子が散乱し、目をおおう惨状を呈した。いちはやくかけつけ、愛児の無残な姿を見た肉親の心境はどんなものであったであろうか。(出典:猿投町誌抜粋)



▲ 痛ましく散らばったカバンや靴。  
右上が突っ込んだダンプカー。左上が追突された小型トラック。



◀ 事故から1年後、亡くなった保育師と10人の園児が描かれた「交通安全誓いの碑」が越戸こども園内に建立された。越戸こども園では、毎年12月に慰霊祭が行われている。

## ～交通事故のない社会を目指して～

交通事故は決して他人事(ひとごと)ではありません。交通事故を自分や家族にも起こりうる身近な問題としてとらえ、悲惨な交通事故を一件でも減らすため、一人ひとりが思いやり意識を高め、安全運転、安全行動に努めましょう。

ドライバー、歩行者、自転車のみなさんは、次の安全行動を実践し、交通事故のない社会を目指しましょう。

### ドライバー

- とよた3Sドライブの実践  
～横断歩道で歩行者を見たら必ず“止まる”を徹底～
- 制限速度の遵守
- 早めの前照灯の点灯とハイビームの活用

### 歩行者・自転車

- 明るい服装や反射材着用の徹底



# 実践しよう!



## 反射材と明るい服装を着用しよう!



☞ 反射材を身につけている場合、約57m以上の視認性があります。

☞ 時速60km/hで走行中の自動車が、歩行者に気が付いて停止させるまでに44mの距離が必要です。

## ハイビームを活用しよう!

ハイビームは、照射距離がロービームの2倍以上!! 夜間走行はハイビームを活用しましょう。



☞ 先行車も対向車も少ない郊外の道路や高速道路では、ハイビームを活用しましょう。

☞ 交通量の多い市街地などの道路では、ロービームで走行しましょう。

## 実践しよう! とよた3S(スリーエス)ドライブ

『とよた3Sドライブ』とは、ドライバーが歩行者を交通事故から守るために実践する運転行動です。

### 1. Slow (スロー)

「ゆっくり発進 ゆっくり停止」

### 2. Smart (スマート)

「余裕の車間距離で、加減速の少ない運転」

### 3. Stop (ストップ)

「横断歩道で歩行者を見たら必ず“止まる”」

☞ ゆとりの心で、「車優先」から「歩行者優先」の運転へ変えましょう!



SLOW・SMART・STOP